フランス語Ⅰ（初級）

市橋明典

授業概要

社会では、時として、「人と違ったプラス・アルファ」を持つことがキャリアを大きく左右する。こうした中、フランス語は、英語圏とは異なる文化、社会、考え方を理解する上では欠かせない糸口になる。また、仏語圏には、様々な科学や芸術を育んだ歴史と環境がある。講義ではフランス語の豊かな文化を学ぶとともに、「読む・書く・聴く」の能力を養い、仏語を話せるようにする。

プリントや（映画を含めた）映像を用い、ビデオ教材の内容に沿ってグループでの簡単な会話練習を行う。基礎的な文法の説明に則り、それに関連する練習問題をこなす。同時に、実践的なコミュニケーション能力を養うべく単語集を使い、語彙の補完につとめる。また、教科書のトピックに合わせて、フランス語圏の文化について随時紹介する。トピックは、フランスの歴史や芸術から始まり、パティスリーなどのお菓子作りといった身近な話題に及ぶ。

授業計画

第１回	フランスとその文化に親しもう / Leçon １：発音の基礎、アルファベット
第２回	フランス語で自己紹介をする（国籍・職業を表す）／ 主語人称代名詞と動詞 être（「～です」）
第３回	住んでいるところについて話す ／ Leçon ２： －er 型動詞 habiter（住む）
第４回	パリの人々 / 職業・身分を表す単語、Oui「はい」と Non「いいえ」
第５回	カフェで注文する ／ Leçon ３：国籍と否定形
第６回	仏語でお買い物 / 不定冠詞、名詞の性と数
第７回	身の周りのもの / Leçon ４：動詞 avoir（「～を持っている」）
第８回	ホテルでチェックイン / 否定の de、疑問文
第９回	人物を描写する、国名を言う / Leçon ５：所有形容詞
第 10 回	マルシェの雰囲気 / 疑問詞、形容詞の性と数
第 11 回	「これは何ですか？」、物とその位置を表現する / Leçon ６：定冠詞
第 12 回	道を尋ねる / Qu’est-ce que … ？ 「～は何？」 「何を～？」
第 13 回	「好み」を表す / Leçon ７：形容詞の性数一致、形容詞の位置
第 14 回	写真について語る / aimer ça 「それ、好きだ」、il y a … 「～がある（いる）」
第 15 回	これまでのレッスンのまとめ ／ フランス語検定５級の解説
第 16 回	学期末試験（筆記試験）

到達目標

近年、ビジネスの現場などでは、ユニークな資格と知識を持つことが有利になる。そして、こうした資格の中にフランス語検定は含まれる。授業では、「文部科学省後援実用フランス語技能検定試験５級」の資格取得レベルを目指す。長いスパンで考えれば、フランス語は、将来 各分野で役立つと同時に、人生を必ず豊かなものにしてくれる。楽しく学べることを目標にしたい。

履修上の注意

外国語は声に出して発音してこそ身につく。そのため、授業では積極的に発言していくことを期待する。
なお、この講義は後期「フランス語Ⅱ」とセットであるため、後期授業の履修を目指して学ぶことが求められる。

予習復習

各課の予習・復習をきちんと行なえば必ず上達する。実践してみよう。

評価方法

期末試験、課題、授業に対するモティベーション等を総合的に評価する（学習を通して受講生が各々将来の目標に役立つ「何か」をつかんでくれることに主眼を置く）。

テキスト

ニコラ・ガイヤール 他著 “ Café français ”（『カフェ・フランセ』）、朝日出版社
また、随時プリントを配布する。